

6 不登校児童生徒の学校復帰支援

1 事業目的

心理的または情緒的理由により長期欠席している児童生徒に対して、小集団による体験学習及び学力保障を中心に、集団への適応と自立を促し、学校復帰を支援する。

2 実施方針

- (1) 適応教室「やまびこ館」・第2適応教室「学習支援室」を運営する。
- (2) やまびこ館運営委員会を開催する。
- (3) メンタルフレンドによる家庭訪問を実施する。
- (4) 「不登校を考える親のつどい」を開催する。

3 実施内容

(1) 適応教室「やまびこ館」・第2適応教室「学習支援室」の運営

- ① 入館を希望する児童生徒がいる場合は、学級担任・学年主任・生徒指導(不登校)担当と事前に十分に情報交換をするとともに、教育相談・SC・SSWに関わる児童生徒については連携を行う。
- ② こども家庭課、川西こども家庭センター、県立但馬やまびこの郷など関係機関との協力体制を確立し、必要に応じて連携する。
- ③ 適宜、「やまびこ館」指導員による学校訪問を行う。また、「学習支援室」指導員については、チャレンジタイム期間中に学校訪問を行う。
- ④ 通館生の状況について月報、電話連絡、学校訪問等で随時学校に知らせ、家庭訪問等不登校児童生徒への学校からの働きかけを支援する。

(2) メンタルフレンドによる家庭訪問の実施

大学等との連携によりメンタルフレンド・やまびこ館指導補助員の登録者を増やし、メンタルフレンド派遣希望者のニーズや適応教室通館生の増加に対応できる体制を整える。

(3) 「不登校を考える親のつどい」の開催

- ① 不登校で悩む保護者の情報交換の場を年2回(7月頃・12月頃)設定する。
- ② 教育相談で案内するなど、保護者への周知を図る。

(4) やまびこ館運営委員会の開催

伊丹市の小・中学校の不登校児童生徒の実態を把握し、学校復帰支援についての研修を行うとともに、適応教室「やまびこ館」、第2適応教室「学習支援室」を管理・運営し、集団による適応指導をとおして学校復帰や社会的自立をさせることを目的とし開催する。(年間3回予定)

4 成果と課題

(1) 成果

- ① 適応教室入館・通館状況に係る情報交換を、学校、SC、SSW、総合教育センター教育相談員および教育相談担当指導主事等と行うことで、通館生に対する指導を充実させることができた。
学校訪問等による情報交換 54回
SSWとの情報交換 16回
- ② 学校に対し、児童生徒の様子を細かく報告し、情報共有することで、適応教室「やまびこ館」通館生14人のうち14人、第2適応教室「学習支援室」通室生 20人のうち15人、メンタルフレンド派遣生5人のうち5人が部分登校や別室登校、放課後登校などができた。
- ③ 「不登校を考える親のつどい」を午前開催にすることで、参加者の情報共有の時間を

十分に確保することができた。

- ④ 他課と連携し、不登校の未然防止に向けて、不登校対策ワーキンググループ会議を8回実施し、不登校未然防止、再登校支援等について協議した。

(2) 課題

- ① 適応教室申請時に、事前に該当児童生徒について丁寧に情報交換を行うことで、見学から通館までをスムーズに行い、継続的な通館につながるように学校に働きかける必要がある。
- ② 通館生の生徒指導上の問題をはじめとする諸課題について、タイミングを逸することなく学校と情報共有し、迅速に対応できるように、SC、SSW、教育相談、関係機関等との連携を深めるとともに、適切に適応教室を運営する必要がある。
- ③ 不登校児童生徒に対し、個に応じた支援を継続できるように、メンタルフレンド・やまびこ館指導補助員を確保する必要がある。

5 実施状況

(1) 適応教室「やまびこ館」について

- ① 在籍児童生徒の状況

学年別 在籍人数		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計	通館人数
平成28年度 3月末現在	男	0	0	0	0	0	2	1	2	1	6	14人
	女	0	0	0	0	0	1	0	2	5	8	
	計	0	0	0	0	0	3	1	4	6	14	
平成27年度末	男	0	0	0	0	0	0	2	2	4	8	15人
	女	0	0	0	1	1	0	1	4	0	7	
	計	0	0	0	1	1	0	3	6	4	15	

- ② 学校復帰状況

通館生14人中14人(100%)が学校復帰(平成27年度 15人中13人(86.7%))

- ③ 館外学習

日時	場所	通館生参加人数(実数)
7月4日(月)～ 7月8日(金)	県立但馬やまびこの郷 (宿泊体験)	2人
10月26日(水)	しあわせの村・馬事公苑 (乗馬体験)	3人
3月3日(金)	お別れ遠足 京都御苑及び京都国際マンガミュージアム	6人

- ④ 館内学習

- ・学習(午前、午後 各1時間程度)
- ・運動(毎週水曜日午後 女性児童センターで各種運動)
- ・調理実習 学期2回程度

- ⑤ チャレンジタイム実施状況

	在籍	完全登校	部分登校	適応教室への通館
1学期(4月)	10人	3人	3人	3人
2学期(8～9月)	9人	0人	3人	5人
3学期(1月)	12人	1人	3人	7人

(2) 第2適応教室「学習支援室」について

① 在籍児童生徒の状況

学年別 在籍人数		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計	通館人数
平成28年度 3月末現在	男	0	0	0	0	0	0	1	6	6	13	20人
	女	0	0	0	0	0	2	2	1	2	7	
	計	0	0	0	0	0	2	3	7	8	20	
平成27年度末	男	0	0	0	0	0	0	2	3	5	10	17人
	女	0	0	0	0	1	0	1	0	5	7	
	計	0	0	0	0	1	0	3	3	10	17	

②

学校復帰状況

通館生20人中15人(75.0%)が学校復帰(平成27年度 17人中12人(70.6%))

③ チャレンジタイム実施状況

	在籍	完全登校	部分登校	適応教室への通館
1学期(4月)	7人	3人	0人	2人
2学期(8～9月)	11人	3人	1人	2人
3学期(1月)	17人	3人	2人	8人

(3) やまびこ館運営委員会の開催

委員長 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 吉田 圭吾 氏

副委員長 伊丹市立天王寺川中学校 佐藤 幸宏 校長

内容 ① 入館・申請

② 適応教室の状況

③ 市内の不登校の状況及び今後の不登校対策

第1回 平成28年7月19日(火)

新規入館申請者数 「やまびこ館」 5人 「学習支援室」 7人

新規入館許可者数 「やまびこ館」 4人 「学習支援室」 4人

第2回 平成28年12月20日(火)

新規入館申請者数 「やまびこ館」 2人 「学習支援室」 10人

新規入館許可者数 「やまびこ館」 0人 「学習支援室」 5人

第3回 平成29年2月21日(火)

新規入館申請者数 「やまびこ館」 6人 「学習支援室」 8人

新規入館許可者数 「やまびこ館」 2人 「学習支援室」 1人

(4) メンタルフレンド派遣事業

① 派遣状況

学年別 在籍人数		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計	人数
平成28年度 3月末現在	男	0	1	0	2	0	0	1	0	0	4	5人
	女	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
	計	0	1	0	2	1	0	1	0	0	5	
平成27年度末	男	1	0	2	0	0	1	2	0	0	6	6人
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	1	0	2	0	0	1	2	0	0	6	

※ 小学校2年生・4年生と小学校4年生・中学校1年生は兄弟であり、同時に訪問。

② 登録メンタルフレンド数 8人 訪問のべ回数 44回

(5) 「不登校を考える親のつどい」の開催

対象 不登校児童生徒等の保護者

講師 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 准教授 齊藤 誠一 氏

講話と質疑・意見交流「不登校児童生徒との関わりをとおして」

第1回 平成28年7月19日(火) 参加者 3人

第2回 平成28年12月2日(金) 参加者 6人